陳　情　文　書　表

受理番号	陳　情　第　１０８　号
件　　名	バスダイヤ変更の取り組み等について
要　　旨	新バスシステムの説明会では，市民の声を聞きながらやりたい。網の目の交通体系を担保する。個別の路線での収支だけでなく，路線全体で判断する。路線全体で黒字であれば路線は継続可能，と説明されました。 しかし，平成28年11月のダイヤ改正では，利用者がいないから沼垂－万代路線が減便だと言われました。 今のままでは不安です。 市の裁量行為，公共の判断，説明責任を果たしてほしく，下記の事項について陳情します。 記 １　ダイヤ発表は，マスコミだけでなく地域住民にも説明すること。 ２　バス停等のインフラ整備は誰がやるのか説明すること。
付託 年月日 委員会	平成 29 年２月 17 日　第１項 第２項　環境建設常任委員会
受　　理	平成 29 年１月 23 日　第６１０号